

(様式1) 新規評価総括表

事業種類		治山・砂防		事業名		山地治山							林務部 森林づくり推進課					
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H27年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価						
1	佐久市	くささわがわ 倉沢川	谷止工 5個	68,000	0	H29	C	A	B	B	C	B	渓床内に不安定土砂が堆積しており、放置すれば下流への土砂流出が懸念されるため、対策を行う必要がある。	保全対象に市道があり、交通遮断による地域経済への影響が大きいことから、重要性が認められる。	○			関係者との調整を進める
2	小海町	ふたごいけ 二夕小池	山腹工 0.07ha 吹付工 100㎡ 斜面補強土工 600㎡	57,000	17,000	H29	A	A	B	A	B	A	H26.4に落石が発生し、人家が被災した。上部には転石の発生源となる不安定な斜面があり、放置すれば再度の被災が懸念されるため、対策を行う必要がある。	斜面の直下に人家がある。今後の降雨等により落石や土砂が流出する恐れがあることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
3	南相木村	ほおりだいら 祝平	谷止工 5個	85,000	0	H30	A	A	A	A	B	A	既存施設の経年変化による劣化が著しく、機能が低下している。放置すれば下流保全対象の被災が懸念されるため、対策を行う必要がある。	計画区域は、特別警戒区域に指定されており、今後の降雨等に渓流内から土砂流出が想定され、下流の児童館などに甚大な被害をもたらす恐れがあることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
4	佐久市	ひろがわら 広川原	谷止工 2個	31,000	15,500	H28	B	A	A	A	C	B	荒廃溪流の拡大により下方保全対象の被災が懸念されるため、対策を行う必要がある。	重要性が高く、緊急性が認められる。		○	○	
5	南箕輪村	たばた 田畑	山腹工 0.50ha 法枠工 1,500m ² 森林整備 0.50ha	70,000	0	H29	A	A	A	A	B	A	急傾斜の上、既存施設の経年変化による劣化が著しく、豪雨による斜面の拡大崩壊が懸念される。下方に人家等があり、早急に対策を行う必要がある。	H26.2に融雪により山腹崩壊をしており、保全対象に人家、JR飯田線があることから、重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	○	○	○	
6	天龍村	かんのんざわ 観音沢	谷止工 3個 山腹工 0.16ha 土留工 3個	141,050	0	H29	B	A	A	A	B	B	H25台風18号により被災した村道への土砂災害を防止するため、対策工事を実施する必要がある。	今後の降雨等で拡大崩壊、安定土砂の再移動が想定され、保全対象に再被害をもたらす恐れがあるため、重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
7	木曾町	とくおんじ 徳音寺	谷止工 2個 山腹工 0.22ha 土留工 4個	187,000	0	H30	A	B	B	A	B	B	荒廃溪流・山腹共に豪雨による拡大が懸念される。下方保全対象の被災が懸念されるため、対策を行う必要がある。	溪岸浸食が進み不安定土砂が堆積している。また、新たな山腹崩壊も発生していることから、必要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
8	麻績村	いちのかわ 市野川	谷止工 4個 森林整備 0.48ha	89,000	17,000	H30	B	A	A	A	B	A	渓床内に不安定土砂が堆積しており、豪雨時に下流保全対象へ流出する恐れがあるため、対策工が必要である。	近年の豪雨等により溪流浸食、不安定土砂が進み、今後の降雨等による土砂流出の恐れがある。保全対象に国道406号に接続する村道もあることから、重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
9	白馬村	のだいら 野平	谷止工 4個 山腹工 0.20ha	84,500	8,000	H29	C	A	A	A	B	B	H26年11月神城断層地震に起因する斜面崩壊により村道が通行止めになり、先線集落に避難指示が出された。豪雨時に拡大崩壊する恐れがあるため、同地区の既設谷止工老朽化対策と併せ、早急に対策を行う必要がある。	重要性、緊急性が認められる。		○	○	

(様式1) 新規評価総括表

事業種類		治山・砂防		事業名	山地治山								林務部 森林づくり推進課					
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H27年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価						
10	白馬村	おおなき 大ナキ	谷止工2個 山腹工0.50ha	211,000	0	H30	B	A	B	A	B	B	H26年11月神城断層地震に起因する斜面崩壊により大量の不安定土砂が生じた。豪雨時に国道へ流出する恐れがあることから、早急に対策を行う必要がある。	重要性が高く、緊急性も認められる。		○	○	
11	長野市	かにきわ 蟹沢	谷止工 4個	64,000	16,000	H29	B	A	A	A	B	A	渓床内の不安定土砂堆積と既存施設の老朽化により、豪雨時に下流保全対象へ被害をもたらす恐れがあることから、対策を行う必要がある。	溪岸浸食が進み不安定土砂が堆積している。今後の降雨等で不安定土砂の再移動が想定され、保全対象に被害をもたらす恐れがあることから、重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
12	千曲市	おじま 小島	谷止工 3個 山腹工 0.20ha 斜面補強土工200㎡	39,000	26,000	H28	B	A	A	A	A	A	H25年9月台風18号災により団地内の市道へ土砂が流出した。下方に人家等があり、早急に対策を行う必要がある。	今後の降雨等で不安定土砂の再移動が想定され、保全対象に被害をもたらす恐れがあることから、重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	
13	高山村	まつなみ 松南	山腹工 0.25ha 法粹工2,500㎡	227,000	20,000	H29	B	A	B	A	B	A	H26融雪により松南団地に隣接する斜面が拡大崩壊した。豪雨時に拡大崩壊する恐れがあり、上部に人家等があることから、対策を行う必要がある。	重要性、緊急性が認められる。		○	○	
14	飯山市	おおかわ 大川	谷止工 1個 山腹工0.15ha 水路工100m	87,400	0	H29	B	A	B	A	C	B	H26年5月融雪により山腹崩壊が発生した。放置すれば豪雨時に土砂が流出する恐れがあり、下方に人家等があることから、対策を行う必要がある。	今後の山腹拡大崩壊により土砂流出の恐れがあることから、重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
合 計			14箇所	1,440,950	119,500													